

有峰ビジターセンター便り

10月28日編集

〇紅葉シーズンを迎えた有峰猪根平

10月の中旬以降、寒暖差が増し、有峰猪根平周辺も紅葉も見頃を迎えました。

下図、下表に10月度週別ビジターセンター来館者数推移を示しました。10月3週以降、来館数が増えています。来館者数は週末に増加、天候にも左右され、週末を除き、雨天の日（赤字）は来館数が少ない傾向にあります。

図1 10月度週別ビジターセンター来館者数

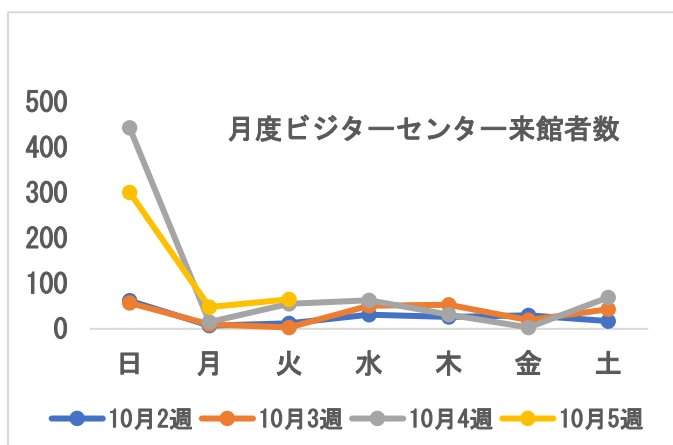


表1 10月度週別ビジターセンター来館者数

	日	月	火	水	木	金	土
10月2週	62	7	12	31	26	30	17
10月3週	57	10	3	51	53	19	43
10月4週	443	15	55	63	31	3	69
10月5週	301	48	65				



紅葉狩りに訪れた観光客（折立線にて10/24撮影）



有峰ハウス前に駐車中の一般車両（10/24撮影）



有峰ハウス前に駐車中の一般車両（10/24撮影）



自由広場散策中のご一家（10/24撮影）



自由広場散策中のご一家（10/24撮影）

○立ち枯れカラマツの伐採

10月26日（月）と27日（火）の2日間、ツキノワグマにより樹皮はぎの被害を受け、倒木の危険性を考慮し立ち枯れしたカラマツの伐採が、有峰森林文化村区域内で実施されました。今回伐採の対象となった立ち枯れカラマツは合計で5本です。専門業者により伐採作業が開始されました。

まず、ロープとクライミングギアを使うツリークライミングの技術を応用し、上部の枝にロープをかけ、木登りをし、下降しながらチェーンソーで枝打ちを行いました。

伐採の工程は、以下の手順で行われていました。

1. 倒す方向を決める。
2. 木を切るのに邪魔になるものを除去する。
3. 木を伐採する箇所に目印を付ける。
4. 受け口を切る。
5. 追い口を切る。
6. 倒す。

切り倒されたカラマツは、チェーンソーを使い、残りの枝を伐採、更に幹を一定の長さに切断していきましました。伐採された枝や幹は、一か所にまとめられ、タイヤショベルに積んで保管場所に保管され、行事用の薪として利用します。



チェーンソーによる枝打ち作業中の専門業者



枝打ちの作業を終え下降してきた専門業者



伐採した枝を回収に向かうタイヤショベル



伐採した枝を回収中のタイヤショベル



伐採した枝を回収中のタイヤショベル



伐採したカラマツを引き上げるタイヤショベル



伐採したカラマツをチェーンソーで切断中の専門業者



伐採されたカラマツの切り株



一時保管されているカラマツの伐採枝